

食料危機と途上国におけるトウモロコシの 需要と供給

清水 達也編

2010 年 3 月

独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所

調査研究報告書
地域研究センター 2009-IV-07
「食料危機と途上国におけるトウモロコシの
供給体制」研究会

はじめに

本書はアジア経済研究所「食料危機と途上国におけるトウモロコシの供給体制」研究会（2009～2010 年度）の中間報告書である。

この研究会を立ち上げたきっかけは 2008 年に起こった食料危機である。国際市場における穀物価格の高騰、一部の輸出国による輸出規制、食料輸入国における食料をめぐる抗議や暴動、バイオ燃料原料としての穀物需要の増加とそれに対する反発、豊かな食料輸入国による外国での農地の確保など、食料供給に対する不安を反映する出来事が次々と起こった。

このような事態に対して、国連食糧農業機関（FAO）をはじめとした数多くの研究機関や研究者が分析を行い、その結果が公表されている。それらをみると、バイオ燃料や新興国の需要増加で需給が逼迫し安い食料の時代は終わりを告げたという指摘から、食料危機は作り話という主張まで、内容は多岐にわたっている。どの研究も国際機関や米国農務省の公表するデータに基づいており、つじつまが合っている。果たして私たちは何を信じればよいのだろうか。

そこで世界の食料需給をまとめて分析する代わりに、これを分解することにした。世界全体ではなく国レベルに、食料全体ではなく特定の作物に、そして需要の変化を把握した上で供給体制に、対象を絞って分析する。それらの分析結果を積み重ねることによって、世界の食料需給の実態についての理解を深めようという試みである。作物としては、主食の他にも多様な用途に用いられるトウモロコシを取り上げる。分析対象国としては主要な生産・輸出国だけでなく、需給構造が大きく変わった国や自給を基本とする国も選んだ。そして各国における需要の変化を把握し、その需要を満たすためにどのような供給が行われているか、それは近年どのように変化したかを分析する。このような作業を行うために、各国の農業や食料の分野に詳しい研究者の協力を得て研究会を組織した。

中間報告にあたる本書では、まず第 1 章で、穀物価格の高騰に関する先行研究を概観し、主に統計データを利用して他の主要穀物と比較したトウモロコシの特徴や、生産、消費、貿易の構造の把握に努めた。次にそれに続く各章で、各国におけるトウモロコシの基本的な需給構造と近年の変化についてまとめた。なお章構成は、トウモロコシの原産地であり生産の中心地である米州諸国を北から南へ、次いでアジア、アフリカの国の順になっている。

本研究会の実施にあたっては、飼料輸出入協議会の江藤隆司専務理事から、「世界の穀物需給動向とその物流」と題してご報告をいただいた。また、農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所飼料作物育種研究チームの佐藤尚チーム長から、「飼料作物としてのトウモロコシの特性」と題してトウモロコシの生理や生態についてご教示頂い

た。そして、本研究会にオブザーバーとして参加いただいたアジア経済研究所の星野妙子氏、佐藤千鶴子氏（地域研究センター）、久保研介氏、塚田和也氏（開発研究センター）や、張馨元氏（東京大学大学院博士課程）、吉田貴弘氏（東京農業大学大学院博士課程）には、情報提供だけでなく議論にも活発に加わっていただいた。この議論を通じて、視野を広げ分析を深めることができた。この場を借りて皆様に感謝の意を表したい。

なお穀類価格の高騰や食料危機に関連して、当研究所では以下のような研究成果を発表している。本報告書と合わせてご覧頂きたい。

- 「特集：世界は何を食べているかー第三世界の主食」『アジ研ワールドトレンド』2009年2月号。
- 重富真一・久保研介・塚田和也『アジア・コメ輸出大国と世界食料危機ータイ・ベトナム・インドの戦略』情勢分析レポート、アジア経済研究所、2009年。
- 「特集：途上国の穀類輸出ーその現状と課題ー」『アジ研ワールドトレンド』2010年4月号。

2010年3月
編者

目次

第1章 食料危機とトウモロコシの需給	1
清水 達也	
第2章 アメリカ産トウモロコシの需給と価格決定の仕組み	19
大江 徹男	
第3章 メキシコにおけるトウモロコシ生産・流通・消費の動向 —自由化から新たな輸入代替へ?—	39
谷 洋之	
第4章 ブラジル産トウモロコシの需要と供給	61
清水 純一	
第5章 アルゼンチンにおける農業生産の拡大 —農業部門の構造変化—	87
清水 達也	
第6章 中国のトウモロコシ供給・需要体制と食糧安全保障政策	107
寶劔 久俊	
第7章 タイにおけるトウモロコシ輸出の発展 —資料・統計による予備的検討—	147
重富 真一	
第8章 東南部アフリカ諸国におけるトウモロコシ	173
高根 務	

執筆者一覧（執筆順、2010年3月時点）

清水 達也（アジア経済研究所・地域研究センター研究員、主査）	第1章、第5章
大江 徹男（明治大学農学部准教授）	第2章
谷 洋之（上智大学外国語学部准教授）	第3章
清水 純一（農林水産政策研究所・総括上席研究官）	第4章
寶劔 久俊（アジア経済研究所・開発研究センター研究員、幹事）	第6章
重富 真一（アジア経済研究所・地域研究センター研究グループ長）	第7章
高根 務（東京農業大学国際農業開発学科教授）	第8章